

論 説

外客誘致事業と道路

新 井 堯 爾



外客誘致事業は日本及日本人の有する總ゆる美點長所を萬國に宣傳紹介して、外客を我國土に招致し以て國民相互間の理解を深からしめ、國際平和に貢献せんとする、即ち國民外交に依つて國際親善の増進を圖る事と、一は所謂見えざる輸出の手段によつて國際貸借の關係を圓満ならしめ以つて國民經濟を潤澤に導かんとする二大目的を有するものである。故に先づ之等二大目的に就ての大體を述べ、次に道路との關係に及ぼさうと思ふのである。

近時文明の進化に伴つて國際關係は愈々複雜にして多岐多端となつて來た。一國の經濟は最早一國の經濟ではなく、一國の思想は最早一國の思想としてのみ局限さるべきものではない。倫敦のバンクに於ける一銀行家の思想は直ちに堂島、蠣殻町の相場に變動を與へ、セルビヤに於ける一青年の放つた一彈は世界を大戰亂に陥入れ、隣邦中國の諸世相は直ちに日本の政治、經濟に響く、如斯く國家は、我々が社會と沒交渉では生存し得ざるが如く、最早や世界を度外視しては存在し得ぬのである。政治も、經濟も文化も、思想も、總ゆるもののが混然として相交錯し世界の大勢を形成し、國家は常にこの潮流の推移に順應せねばならぬのである。然し乍ら盲目的順應ではならぬ。吾々は二つの眼球を持つ如く國家も亦二つの眼球を持たねばならぬ。吾々の一つは國際人としてのそれであり、一つは日本人としてのそれである。如く國家の一つは對外的に於ける正確なる觀察と、一は對内的に於ける正しき認識とである。即ち此の二つの完全なる認識作用に依つて、國家は正しく世界の潮流に順應すべきである。故に今日の大勢を知らぬ國家は明日の世界に於ける落伍者である。

如斯世界と國家とは益々緊密に、國際間の交渉はより複雜へと轉化して行くのである。然して斯くの如く複雜なる關係を調節してより圓満なる國交と世界平和の確保は、各國民相互間に於けるより深き理解と同情とに俟つもの頗る大である。

然るに我國は東洋の一隅に偏在し、歐米諸國の如く、同一種族若しくは同一人種、或は同一歴史を有し、同一なる文化系統を辿り來つた國と異り、地理的に、文化的に、人種的に非常なる懸隔があつた爲に、眞の國情が理解され難く、容易に理解され得ぬのである。而も從來我國は幾多の優美性を有したにも拘らず、之を廣く海外に宣傳紹介し又は眞日本の姿を知らしむる等の方策を講じなかつた爲めに、屢々誤つた觀察のもとに認識せられて來つたのである。而もその誤つたる日本觀が直ちに外交上に將又國際場裡に具現し、尠からざる不利益を蒙つて來たのである。此は獨り我國の不利益のみならず、世界平和の爲め世界文化の爲め甚だ遺憾に堪えない事で、外客誘致事業は之等の誤つたる日本觀を掃蕩せしむべく、我國の國情、國民性、藝術、產業、風光等を宣傳紹介し以て外客を招致し、眞日本の姿を認識せしめ理解せしめ、國際親善の増進を圖らんとする平和使節の大任を持つものである。

三

更に經濟的利益に就て見れば、我國の如く年々輸入超過を常態とする國に在つては、國際貸借の均衡は貿易外の收入に俟たねばならぬ。我國の貿易は明治中葉と歐州大戰當時の三、四年の輸出超過を除いては、年々輸入超過を示し、最近十ヶ年の入超總額は約四十億圓に達し、最も多い年には六億四千萬圓の入超を示してゐる。然し乍ら一方に於て貿易外の收入が二十五、六億圓を得てゐるが故に、實際過去十ヶ年間に於て海外に流出した金額は十五六億圓で、一年平均一億五六千萬圓の流出を繼

續して來たことになるのである。然も將來に於ても貿易上に一大變動を來すか、或は輸出超過となるべき重大なる方策が考慮されざる限り、尙この輸入状態を繼續するものと想定せねばならぬのである。如何となれば我國の如く山嶽多くして比較的經濟資源に乏しき國に在つては、將來輸出超過を期待するが如きは却々困難なる事であるが故である。最近産業組織及經營上の缺陷を補つて産業の振興を圖り、延ひては貿易上の發展を期せんとして産業の合理化等が唱導せられてゐるが、之が爲め直ちに出超を豫期するが如きは到底至難な事であると信ずる。

如斯將來に於ても尙且つ輸入超過を繼續し、出超を來すべき何物をも見出し得ざるとすれば、國際貸借の均衡は貿易外收受の増大に俟つより他に方法はないのである。然らば我國に於ける貿易外收支關係如何と云ふに、之を昭和四年度に就て見れば、經常的收入六億十六萬五千圓、同支拂四億一千九百二十一萬圓で、差引一億八千九十五萬四千圓の受取勘定となつてゐるのである。然るに臨時的情收入に於て三億六千七百六十二萬二千圓、同支拂四億五千六百六十六萬二千圓となり、支拂超過額九千六百萬圓となるが故に、結局昭和四年度の貿易外收支總決算に於ては九千八十九萬四千圓の受取勘定となる譯である。而して貿易外の收受には、海運關係收入、海外事業及勞務利益、保險關係收入、外國證券及利子配當、外國人本邦内消費額其の他であるが、從來最も有望にして且つ收入の多かりし海運關係收入は歐洲大戰終熄を一劃期として漸次凋落に向ひ殊に現在の如く優秀船の建造競争と、世界的繫船恐慌時代に在つては到底その増大と發展とを期待するが如きは望み得ないし、海外投資事

業及移民の送金の如きも亦然りである。然し乍ら此處に外國人本邦内消費額即ち外客誘致事業のみは將來最も發展的 possibility を有するものである。

四

我國は天然の資源乏しきに反し觀光國としては頗る惠れたる素質を有してゐる。即ち自然の風光乃至歴史的所産に成る美術的建造物或は文化藝術、產業等歐米諸國に於ては到底探求し得ぬ特異の存在がある。其の風景のみに就て觀るも海洋の美を有する點に於て山嶽の美のみを有する瑞西に秀れ、山嶽の美を有する事に於て南歐に勝る。即ち我國の風光は南歐瑞西の美を併有する點に於て斷然傑出し殊に我國の風景中瀬戸内海の風光のみを捉へ來つても世界無双の大觀として嘆賞せられるのである。其の他日光、奈良、京都、宮島の如く歴史を背景としたる人工と自然のと調和美を有しました世界に多くの類例を見ざる豊富なる温泉を有する。昭和四年度に於て日本の風光に憧れて來遊せる外客は三萬五千人、其の消費額は五千八百萬圓である。然し乍ら之を佛の八億圓乃至十一億圓瑞西の二億三、四千萬圓、伊太利の三億三、四千萬圓に比すれば當に雲泥の相違がある。世界に卓絶せる風光を有し乍ら外客數に於ても消費額に於ても歐洲諸國に遠く及ばざるの原因は、我國が從來外客誘致事業を等閑視し、之に對する宣傳紹介、若くは觀光客に對する適當なる施設を講じなかつた事に重大原因を持つものなるが故に、今後之等觀光客を對象としての宣傳施設等の宜敷を得ば、十

分なる素質を有するが故に將來大なる伸展性に富むものと云はねばならぬのである。

五

外客誘致事業は以上の如く我國の優れたる風光乃至藝術、文化等を如何にすればより資本化し、より商品化し得るかに在る。即ち觀光國としての優れたる性能を如何にすればより完全に發揮して、經濟的價値乃至效用を増大し得べきかに在るのである。觀光事業の素材たり資源たる風光乃至藝術やは其れ自體が既に多少に拘らず經濟的價値を有するものなるが、之が一度觀光事業の對象となりたる時に於て最大の效果を發揮するのである。即ち觀光客を對象としての施設準備を成す事にて經濟的價値乃至國際商品としての價値を増大する事になるのである。而して其の手段方法としては、先づ海外に向つては我國の有する總ゆる優美性を宣傳紹介して外國人に好奇の念を抱かしむると同時に内に對しては心地善き觀光をなさしむべく諸種の施設をなさねばならぬのである。

即ち汽車、電車、自動車船舶等の交通機關の整備改善、或はホテル、旅館等の宿泊設備、娛樂機關の充實改善乃至は觀光地、遊覽地等に對する文化的施設等多種多方面に涉つてゐるが、其の中最も重要なして且つ急速を要すべきものは道路の整備改善である。觀光事業の大半は道路の完成によつて達成せられるものと云ふも敢て過言でないのである。歐洲諸國殊に外客誘致事業の最も發達せる佛瑞の如きは早くより外客を對象として道路の施設改善を實施し來れるが爲め、之に依つて年々莫大な

る效果を擧げてゐるのである。

瑞西の如き小國に於てすら一九二八年に於ては外國より入國せる自動車數のみにても十萬三千六百三十臺に達し、一九二二年の七千二百八十四臺に比し十四倍の増加を示してゐる状態である。如斯く近時は自動車の發達に伴つて、之による旅行旺盛となり、殊に外國觀光客は自動車による旅行を好むが故に、道路の完備は我國に於ても觀光國としての價値を高め得る點に於て最も重大なる意義を有するのである。併し乍ら我國の道路は其の構造に於て昔時の交通物體を標準として築造されたるもの多きが故に、今日の如く自動車の發達せる時代に於ては、其處に幾多の缺陷を有し、従つて改善或は修理を要すべきは勿論なるも、今後新設さるべき道路乃至は改善さるべき道路は専ら自動車を對象としてなさるべきであり、觀光事業としての道路も自動車運送を標準として築造さるべきである。

我國の道路の劣悪なる事は文明國中に於ても稀に見るところにして、來遊外人中にはこの劣悪なる道路に驚愕し、「日本の道路は自動車を殺人車にする」と嘲笑するが如き有様にて文明國としての體面維持上より見ても極めて重要な問題たることを失なはぬのである。

近時文化の進展に伴つて、大都市を中心とし、或は之を結ぶ近代的道筋が續々として建設されつゝあるは洵に喜ばしき次第なるも、之を全國的に見る時は今後改善を要すべく残されたる餘地は尙多く、殊に觀光地遊覽地等に對する道路の如きは特に然りである。如何に我國が優れたる風光を有し、

觀光國としての素質を完備せると雖も、之に伴ふ道路の完備に俟たねば十分なる價値を發揮する事は出來ぬのである。然し乍ら我國は財政不如意なるが故に必しも京濱國道、若くは阪神國道の如き立派なるものを希望するものに非ず、出來得るとすれば結構であるが、自動車の二三臺も並行して滑かに走れ塵芥、烟幕等の立ざる程度のものにて十分である。道路の改善は獨り外客誘致上多大の效果を齎すのみならず、一般國民の利福を増進し、交通運輸の發展と産業の促進上極めて重大なるものなるが故に、一日も速やかに其の完成を望むものである。

道 路 と 文 化

野 村 兼 太 郎

人類の文化が發展するためには最も必要なことの一つは、違つた文化が互に相接觸することである。恰も個人の進歩が他人との交際に依つて啓發される、ことの多いのと同一である。もし人間の知識が一局部に躊躇されてゐたならば、その文化の發達は到底今日の如くなるを得なかつたであらう。